

ファッションで浜松の街へ旅立とう!

結婚したてのクリスマス、3時間待ちの長蛇の列に不機嫌顔の主人と大ゲンカし、正味2時間でランドをあとにして以来、我が家にとっては海外よりも遠い地となっていた東京ディズニーリゾート。先日14年ぶりに、気の置けない友達親子と行って来ました。勿論、主人は喜んでのお留守番。当日は、折しもテレビを賑わせた2月の異常気象の大雪!大渋滞のなかを16時間かけてたどり着き、雪景色に眺めたシンデレラ城は格別の感動が、やはりヨーロッパよりも遠かった!さて、そのディズニーリゾート。14年ぶりに訪れるといろんなモノが変わってありました。私がひそかに下剋上と呼んでいるディベアの「ダッフィー」。今やミッキーよりも人気者のこのクマ(だから下剋上)、園内では老若男女が真顔でこのぬいぐるみを抱き歩いておりました。これらの光景が異様に映っていたディズニービギナーの私も、2日目にはすっかりこのダッフィーの虜に、ぬいぐるみを抱き歩いて、我が息子に気味悪がられたりも。これがきっとディズニーの魔法なのではないでしょうか?!子供達よりもはしゃぎつつ、大人に、そして親になってから改めてディズニーの世界に飛び込んでみると、つくづくその演出の素晴らしさに驚かされます。キャラクターと世界観の完璧なストーリー構成や、大人もワクワクする街並みもさることながら、一番に感心したのが「キャスト」と呼ばれる園内すべてのスタッフ!おそらくこの世界が大好きで飛び込んできたであろう彼らが、時には役者となって、私たち異邦人(お客)をディズニーの夢へと心地よく誘ってくれている。ゆえに、ディズニーは世界屈指のエンターテイメント足り得ているのですね。

3月31日まで開催のこの春の「浜松まちゼミ」。まちゼミとは、街なかの店主が講師となって、皆さんにプロの技や知識を学んでいただきながら、お店の魅力と、浜松の街の楽しさを知ってもらおう、という活動です。この活動の実行委員長という役を通して4年目の最近思うのは、街を魅力的にするのは、建物やブランドネームだけでなく、やはり人!だということです。かのウォルト・ディズニーもこう言っています。「人は誰でも、世界中で最も素晴らしい場所を 夢に見、創造し、デザインし、建設することができる。しかし、その夢を現実のものとするのは人である。」街で活動する私たち商店主がキャストとなって、行政と共に街を演出し、時には役者となって、街を訪れる人をもてなし、そして浜松が「また遊びに来たい!」夢の街になる。夢のまた夢のような話ですが、考えるだけでワクワクしてきます!雪の夢の国から戻り翌日、夢の址のダッフィーのぬいぐるみを、いつもお客様の子供さん達が遊ぶ店のソファにそっと置いておきました。きっと、遊びに来た子供さんたちが抱きしめてくれるのでしょう。そして私も、仕事の合間に眺めるたびに、無邪気にはしゃいだ夢の世界を思い出すのです。



佐々木まり子

肴町のレディースブティック「Sun Marry」オーナー。Sun Marryは、お客様は3歳から100歳、取扱いブランドは50以上という幅広いバリエーションを持つセレクトブティック。最近では自ら企画したガールズハット「プティマリー」を全国に向けて通販展開している。おしゃれのお手伝いで、関わるすべての女性をより素敵にして、最高の笑顔を引き出したい!と日々奮闘中。